

WEEKLY SIGNAL

平成28年8月12日(金) 1336号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	8/15 (月)	8/16 (火)	8/17 (水)	8/18 (木)	8/19 (金)
無担保O/N	△0.086% ~ 0.001%				
銀行券	+ 800	ト ン	ト ン	△ 1,000	△ 1,000
財政他	+ 30,100	△ 2,000	△ 1,000	△ 3,000	+ 1,000
資金需給	余 30,900	不 2,000	不 1,000	不 4,000	ト ン
主な要因	年金定時払い・源泉税揚げ 国庫短期証券発行・償還(3M) 国債発行・償還(2年)				
オペ期日	共通担保(全店) △ 5,100 CP等買入 △ 800 社債等買入 △ 100 国債補完 + 200	国債買入 + 5,300 短国買入 + 30,000			
オペスタート	共通担保(全店) + 1,900 国債買入 + 11,800 ETF買入 + 200				
(日本)	GDP(2Q) 日本銀行が保有する国債の銘柄別残高 日本銀行による国庫短期証券の銘柄別買入額 8月10日現在の営業毎旬報告(日銀)	業態別の日銀当座預金残高(7月)		対外対内証券売買貿易統計(7月)	全産業活動指数(6月)
(海外)	米 NY連銀製造業景況指数(8月) 米 NAHB住宅市場指数(8月)	米 住宅着工件数(7月) 米 CPI(7月) 米 鉱工業生産指数(7月) 米 アトランタ連銀総裁講演	米 セントルイス連銀総裁講演 米 FOMC議事録(7月26・27日会合分)	米 新規失業保険申請件数 米 NY連銀総裁記者会見 米 サンフランシスコ連銀総裁講演 米 景気先行指標総合指数(7月) 欧 ECB議事要旨	

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.06 ~ 0.001
SPOT 2M	△0.06 ~ 0.001
SPOT 3M	△0.06 ~ 0.001
SPOT 6M	△0.07 ~ 0.001

<インターバンク>

週初295兆円台であった日銀当座預金残高は、国債買入・国庫短期証券買入オペを主要因に9日298兆円台まで増加した後、国債発行要因等により減少基調となり295兆円台で越週した。無担保コールON物は、週初から週央にかけて△0.06~△0.01%台のレンジで取引され、その間同金利の加重平均は△0.048~△0.045%で推移し、前週と比べ弱含みの動きとなった。週末となる12日は△0.05~△0.01%台のレンジの出合い、加重平均金利は△0.041%。ターム物は1~2W物△0.02~△0.01%台の取引が中心となり前週比横ばい圏。市場では今積み期にかかる当座預金の積数調整を行う動きや、年金定時払い(15日)以降の資金ポジション調整を意識する動きが見られた。来週の材料としては、7月26・27日のFOMC議事録(17日)などが挙げられる。

【オープン市場】

CP3M(a-1+)	0.000 ~ 0.005
TDB 3M	△0.300 ~ △0.200
現先(on/1w)	△0.100 ~ 0.000

<CP>

今週の入札発行額は約3,200億円で、期落ち額約5,400億円(金融機関・ABCP除く)を下回った。夏季休暇期間で発行閑散であった。a-1格相当銘柄の3M物入札発行レートは、0.0010%割れで推移した。現先レートの中心は、-0.100%~0.000%程度で推移した。来週の期落ち額は2,600億円程度となっている。

<TDB>

10日に国庫短期証券3M第626回債の入札が行われたが、最高落札レートは△0.1844%(前回債△0.1844%)、平均落札レートは△0.2224%(同△0.2100%)と前回債と比べて利回りに大きな変化なかった。セカンダリーは3Mで△0.23%近辺の地合いとなっている。6Mは△0.25%近辺の地合い、1Yは目立った出合は見られなかった。来週17日に1Y、18日に3Mの入札が予定されている。

<レポ>

足許GCは短国の発行日となる10日受渡、15日受渡では△0.07%台と先週末対比小幅上昇した。週末には国債・短国買入れオペが3兆5,300億円オファーされ、△0.09%台までレートは低下し越週した。SC取引では、20年157回債は週を通して深いネガティブレートで取引され、△0.20%~△0.40%の出合が多く見られた。他では2年366回債、5年126・127・128回債、10年336・341・342・343回債、20年155・156回債、30年49・50回債などに引き合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。